

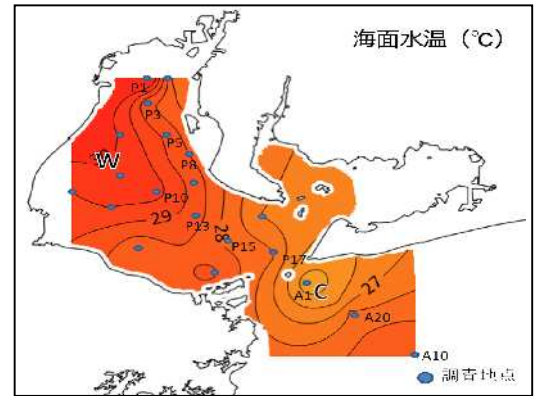
# 海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和3年7月30日

## 【観測結果（調査日：7月26,27,28日）】

7月26日に渥美外海、27日に伊勢湾北部、28日に伊勢湾南部の観測を実施しました。海面水温は25.6℃から31.2℃となっています。海面水温は、先月下旬と比べ伊勢湾では約4℃上昇しており、伊勢湾の湾奥から湾中央にかけて、特に西部で高くなっています。また、湾口部は周囲に比べ水温が低くなっています。



## 【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

気温の上昇と降雨により、伊勢湾の成層構造が発達しており、表層の高水温・低塩分の低密度水は湾奥から湾口へ向けて流出しています。一方、渥美外海は、黒潮からの暖水波及の影響で外海水に覆われており、その境界となる湾口付近ではフロントが形成されています。

湾口混合水は水深15m付近を湾内へ流入している模様です。そのため、湾奥から湾中央の底層には高密度水が孤立し、貧酸素水塊（溶存酸素飽和度が30%以下）が形成されています。また、クロロフィルa濃度は、湾奥では表層、湾中央では水深10m付近、渥美外海では外海水の影響で表層では低く、水深50～60m付近でやや高くなっています。

